「原発ゼロ」調布行動 ニュース　2024年3月11日

調布市民のみなさん

　このニュースは、毎月１１日に行なっている「原発ゼロ」調布行動をめぐる情報を交流するものです。
　今日は、フクシマ原発事故（東日本大震災）から１３年となった３月１１日（月）の「第１３５回行動」の報告と、４月１１日（木）に予定する「第１３６回行動」のご案内をお届けします。　**（編集者）**

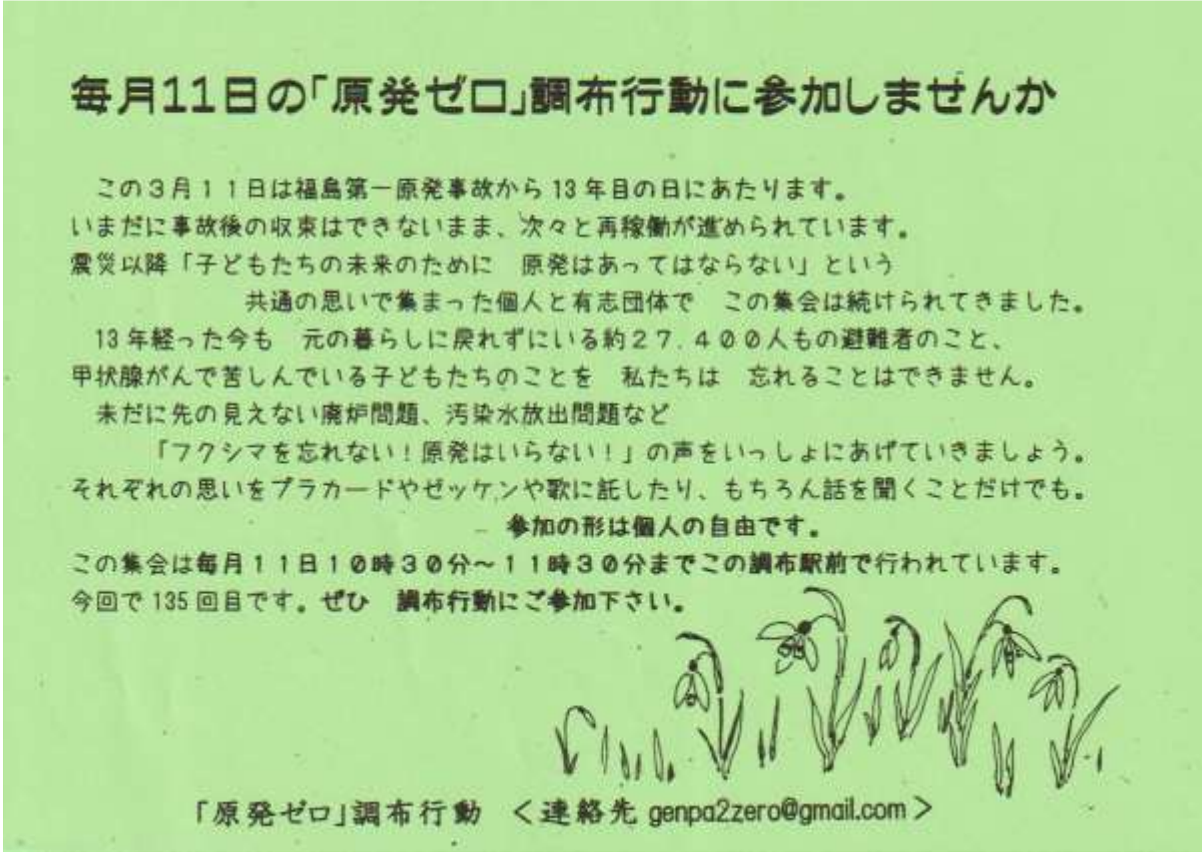
あの時生まれた子が中学生！

里に帰れぬ人が３万人もいるのに原発推進？　許せるわけがない

９０人で第１３５回「原発ゼロ」調布行動

　今回の司会・進行は「学習サークル・アネモネ会」のみなさん。司会は知識明子さん、スピーチ調整は大本久美さん、記録は秋山秀子さんと大松由紀子さん、音響装置とハンドマイク準備は鈴木勝雄さん、写真記録はむらき数子さんと鈴木彰。
　能登半島地震、志賀原発危機から２カ月余り、フクシマ原発事故から 13 年目となった今日は、膨大な被災者と犠牲者を慰めるかのような「こよなく晴れた青空」のもとでの行動になりました。調布市が進めている駅前広場の工事によって、今日はとうとう中央口前の広場にマイクを据えましたが、９０人を超えるみなさんが参加して声を挙げました。

◆　司会：知識明子さん　　今回は 135 回目の行動ですが、フクシマ原発事故から 13 年、能登半島の地震から２か月となります。この間の２万人を超える死者・行方不明者を忍んでまず黙とうを捧げましょう。
　今日配布するためにチラシをつくったので、それを読みあげて、今の思いをみなさんと共有したいと思います。



毎月11日の「原発ゼロ」調布行動に参加しませんか

　この３月１１日は福島第一原発事故から 13 年目の日にあたります。
いまだに事故後の収束はできないまま、次々と再稼働が進められています。
震災以降「子どもたちの未来のために　原発はあってはならない」という
　　　　共通の思いで集まった個人と有志団体で　この集会は続けられてきました。
　13 年経った今も　元の暮らしに戻れずにいる約２７．４００人もの避難者のこと、
甲状腺がんで苦しんでいる子どもたちのことを　私たちは　忘れることはできません。
　未だに先の見えない廃炉問題、汚染水放出問題など
　　「フクシマを忘れない！原発はいらない！」の声をいっしょにあげていきましょう。
それぞれの思いをプラカードやゼッケンや歌に託したり、もちろん話を聞くことだけでも。
　　　　参加の形は個人の自由です。
この集会は毎月１１日１０時３０分～１１時３０分までこの調布駅前で行われています。
今回で 135 回目です。ぜひ　調布行動にご参加下さい。

「原発ゼロ」調布行動　<連絡先 genpa2zero@gmail.com>

◆　歌：東北人、調狛合唱団有志
＊たんぽぽ
＊群青（南相馬市小高区の小高中学生作）

◆　鈴木トミ子さん(染地)　　　13 年前、福島の浪江に住む友人から「福島民報」と美味しい魚が送られてきた数時間後に 3.11 が起きた。今年 1.1 に能登半島地震、住民の反対運動で珠洲原発が作られなくて本当に良かった。感謝の思い。日本は地震多発国、この国に原発が建てられるのは考えられない事。志賀原発が再稼働していなくて良かった。

「膨張と忘却」の ETV 特集が大変良かった。政治を変えていくためにも私たちの運動が大切だと思います。

◆　加藤由美子さん(多摩川)　　　福島原発の廃炉問題、デブリ取り出しの状況を廃炉支援機構（NDF）が報告した内容を新聞記事により紹介します。回収の困難さは続いていて、廃炉の見通しは立っていない。原発は、事故が起きたらお金、人を犠牲にするもの。見通しは立たない。原発はゼロに！

◆　菊池公子さん(深大寺)　　　岸田大軍拡は大増税につながるもので許せない。東京大空襲で亡くなった方の遺族の思いについて、6 日の「赤旗」と 10 日の「朝日」の新聞記事を紹介させていただきます。

◆　歌：森理子さん(下石原)と杉崎哲夫さん(国領)　　　国会前で、避難者の声を聴いて私が作詞したオリジナル「双葉」(帰還困難地域が 85%)を、その人びとに思いを込めて歌いたい。

♪あの事故がなかったら　いつ帰れる　見上げる故郷の空♪

◆　佐藤まり子さん(富士見町)　　　宮城県で一人暮らしの義母のことが心配だった 3.11 から 13 年になった。年月の立つのは早いもので、その時生まれた孫は 13 歳で中 1 になった。日本は火山国で地震が多発している、そんなところに原発はいらない。安心な世の中を作りたい。

◆　踊り：パワーズ　　花笠音頭
　　歌：調狛合唱団有志
　　　　　♪　「ラブ＆ピース(未来の子どもたちへ)」
　　　　　　　佐賀で風船飛ばしたら奈良まで届いた。これが放射能だったら大変なことにな
　　　　　　　ると原発をなくす思いを込めて佐賀の歌声のみなさんが作った歌。
◆　河野良彦さん（布田）　　　13 歳で広島で被爆した。調布で調友会を作って活動している。原発は止めてもらいたい。同じ仲間の会「広島がたどる平和への道」が 3 月 20 日(1 時〜4 時)杉並である。都合付く方は参加して欲しい。
◆　蔵貫隆子さん(深大寺東町)　　　今なお 2 千人が避難しているとの報道。調布市で、学校が避難所になったらどうなるのかと考えたら、大人用のトイレがないという。こういう現状を変えるように要望していきたい。

◆　大野信也さん(多摩川)と大松由紀子さん(柴崎)　　　命よりお金が大事で原発止められないというのが実情です。原発が本当に危険だと言うことをしっかり認識しなくては。子や孫の世代を思ってあきらめないで頑張っていこう。
　「映画会」の案内
ドキュメンタリー映画「六ケ所村ラプソディー」　(2006 年製作)
日時　3 月 16 日(土)午後 1 時半から　会場　仙川南ビル 1 階集会室
事前申し込み 30 名　参加費 200 円
◆　歌：　♪　平和でこその思いを込めて「隅田川」を歌いましょう
◆　鈴木彰(多摩川)　　　当時生まれた子が中学生になるほどの年数が経ったのに、3 万人が故郷に帰れない。それなのに内閣は戦争の準備とともに原発推進に舵を切った。しかし国民はこれを支持していない、内閣支持率は 14%までおちている。これは私たちの勝利が間近に来ていることを表していると言えるのではないか。新しい闘いがこれから始まる。私たちは、2012 年 11 月 11 日に 80 人で第 1 回目の行動を開始した。今日は 135 回目で 90 人が参加した。それを足掛かりとして、さらに勝利へ進んでいこう。

◆　記念写真：全員集合

第136回「原発ゼロ」調布行動

日時：２０２４年４月１１日(木)
　　　１０時半～１１時半　於：調布駅前

次回は４月１１日（木）。福島原発事故から１３年１カ月目、「調布行動」としては第１３６回目の行動です。企画・進行・司会は、引き続き学習サークル「アネモネ会」のみなさんです。

参加される方は、それぞれの思いをプラカードやミニカードに書いて集まりましょう。どんなことでもいいから「ひとこと」は言ってやろうというトークの準備もしてください。色んな人が、短くてもいいから「ひとこと」を！　と願っています。

準備してきたのにトークができなかった場合、メモを編集部にいただけば、このメールでみなさんに伝えます。

＊コロナ・インフルエンザ・ノロなどなど、危険なウイルスへの対策も油断はできません。（体調を崩された方は勇気をもって「自宅待機」を）。

＊小雨の場合はプラカードを持ってスタンディングなど、可能な範囲の行動に切り替えます。大雨の場合は、参加者各自でご判断を！

なお、３月以降の「窓口さん」は、以下のように申し合わせていますが、われこそはというグループはどうぞ名乗り出て、輪番に加わってください。

１３７～１３８回（　５～　６月）	年金者組合
１３９～１４０回（　７～　８月）	新婦人
１４１～１４２回（　９～１０月）	＠ちょうふ
１４３～１４４回（１１～１２月）	調狛合唱団有志